

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2015年
2月13日(金)
第125号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

「保育を楽しむための連続講座」

マイノリティー企画 集まれ！男性保育士

15年1月16日に東京労働会館4階会議室にて、番外編として、特別企画「集まれ！男性保育士」を開催し、男性18名、女性10名が参加しました。少数派であり、普段なかなか話す機会のない男性保育士が集まり、ざっくばらんに語り合いました。初対面の人が多い中、男性保育士としての喜び、楽しみ、悩み、苦しみ、葛藤・・・など、様々な意見を交換しました。(男性が0歳児クラスを持つことについて、男性としてのコミュニケーションの取り方、男性ならではの痛みなど)笑いあり、真面目な話しも有りで、終始和やかな雰囲気が進みました。

そして最後に、第一回目の連続講座でお話を下された墨田区の保育士、高橋光幸さんが総括として沢山の貴重なお話をして下さいました。その中でも、「男の保育ではなく、自分の保育を目指そう！」「子どもがこの先生に出会えて良かったって思えるような先生になろう」その言葉はとても印象的でした。



男性保育士の方々から頂いた感想を紹介します。

20代 保育士歴1年目

コマの※「おっばいからビューン！」すぐに実践したいです。※コマ遊びの時に「おっばいからビューン！」と言ってコマを回したという楽しい事を実践した男性保育士の方がいました。

20代 保育士歴4年目

「先生」らしくいるべきか、ジられて子どもと楽しめるようにするか自分も迷っていたことだったので、参考になりました。

20代 保育士歴3年目

色々な体験、話し、考え方、人柄が見聞きでき、楽しく参加できました。

20代 保育士歴1年目

男性女性・・・ではなく、一人の保育士として頑張ろうと思いました。

20代 保育士歴4年目

思っていることが同じだった話や、どうなのかと思うことも今後のプラスになればと思います。

20代 保育士歴1年目

明日から「1日1つ自分が楽しい事」「面白いと感じること」を行っていき、積み重ねていきたいと思えます。

20代 保育士歴4年目



なんだかんだと悩みながら働いているんだと知ることができ、活力が湧いてきます。

20代 保育士歴4年目

楽しい話、重要な話、どちらもあり、「自分はこのままで良いんだな」「ここは勉強になるな」と、沢山の話が聞けて刺激になった。

30代 保育士歴3年目

先生 子どもという関係性に無理に固執し過ぎなくても良いのだと気持ちが少し晴れた気がする(以前幼児クラス担任をしていた時に子どもからナメられてしまうことが悩みだった)。

20代 保育士歴5年目

マイノリティーとして色々な考え、状況を少しでも伺うことが出来て良い経験になりました。

参加者からは「勉強になった」「良い機会となった」「保育の悩みを共有出来て良かった」等の感想が多く聞かれました。男性同士で意見を交換し合い、各々が充実した有意義な時間を過ごせたようです。そして、「少ない男性保育士ですから、たまにこのような企画があると良いですね」という意見もあり、少数派である男性保育士が自分だけでなく、身近で頑張っている人がいるという事を感じられる良い講座になりました。



最後は楽しい飲み会

世田谷区職労保育園分会

「新春のつどい」134人で盛大に開催

1月14日「新春のつどい」が134名の参加のもと盛大に開催されました。新しい年を迎え、気持ちも新たに学び合うという恒例となっているこの学習会は、講演と文化行事の2部構成となっています。今年は吉川貴夫特区連執行委員長を講師に迎え、現在私たちを取り巻く社会の状況から、自治体労働者としてどうあるべきか、具体的な数値や法律、歴史的背景等も交えながらお話していただきました。普段「どうして?」「これはどういうこと?」と疑問や憤りを感じていた貧困や格差などの問題、生活の不安なども、わかりやすい言葉と丁寧な解説で深い学びにつながりました。

文化行事は、珍しいピアノとコントラバスの二重奏、デュオ・オブリガートのお二人によるニューイヤークンサート。クラシックから映画音楽…美しい音色に会場は癒しの響きに包まれました。コントラバスの杉本正さんは神奈川フィルハーモニー管弦楽団を不当解雇されてしまい、現在も職場復帰を目指して闘われています。一日も早い復帰を願わずにはられません。オーケストラの音を“支える”コントラバス、弦楽器同士の音を“つなぐ”ピアノ。2つの音色が心に心地よく響き、豊かな時間を過ごすことができました。

参加者からは「難しい内容でしたが、現状を知ることができる良い機会になりました」「自分で考えることのできる自治体労働者でなければ」という言葉が印象に残りました」「自治体労働者としての責任の重さをどっしりと感じました」「普段生演奏を聴く機会がなかったので、とても心地よく楽しむことができました」「癒され、ほっとする時間を持つことができました」などなどたくさんの感想が寄せられました。このつどいで学びをパワーに2015年も心をひとつに!!!様々な活動に取り組んでいきたいと決意を新たにしました。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】